

## 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 CL 湊 SL 上戸 スタッフ中塚 古淵 受講生 村上 黒岩

2. 山城／ルート 夏山教室実技 新穂高ー槍平ー槍ヶ岳

3. 交通手段 自家用車

### 4. 行動記録

<入山日 令和4年7月16日～下山日 令和4年7月17日>

第1日 0400 神戸周辺出発-0940 新穂高温泉

1130 新穂高温泉-1450 滝谷出合-1600 槍平小屋-幕営

第2日 0500 槍平小屋-千丈沢乗越分岐-0940 槍ヶ岳山荘-1010 槍ヶ岳-1040 槍ヶ岳山荘-

1140 千丈乗越-1305 奥丸山分岐-1350 槍平小屋-幕営

第2日 0630 槍平小屋-0740 滝谷出合-1030 新穂高温泉-入浴-帰神

### 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

2日目、天候不良のため、槍ヶ岳登頂をあきらめ下山した

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

夏山教室の実技講習であり、事前学習済み

### 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

槍ヶ岳登頂は、2日目の天候不良が予想されたため、断念した

右俣林道の夏山登山道の近道は下山で利用したが、2～3分程度しか変わらない

当日深山荘の無料駐車場は満車、ビジターセンター付近の駐車場は閉鎖のため、鍋平駐車場に駐車。片道40分程度必要

報告者 湊 浩樹

令和4年7月18日



滝谷出合にて



滝谷出合にて

## 7. 感想

念願の槍ヶ岳。

昨年から登山を始め、徐々に山の経験や知識を得て日々トレーニングしながら槍ヶ岳に登りたいと思っていた。

富士山にもまだ登ったことがないが、槍ヶ岳に登りたい！！そう思っていた。

昨年からソロで表銀座を縦走して槍ヶ岳への計画も立てていた。

しかし、RC 教室の最終日にスタッフの方(湊さん)のご挨拶で後に夏山教室開催され修了山行は奥穂か槍ヶ岳に行く予定とのご案内があった。

よし、神戸労山に入会して槍ヶ岳に行こう！

行く前から凄く楽しみで、天候を何度も何度も確認していたが

予想外にも明けたはずの梅雨が戻ってきた…

夏山教室で天気図の見方を教えて頂いたが、まさに梅雨の天気図…

自然には勝てないことはわかっているが本当に行けるのだろうか？不安がよぎる…

出発の前々日に開催の連絡があった。

よし、行ける！！とは思ったが、天候の不安はあった…

出発まで何度も荷物を確認し、槍ヶ岳に挑んだ。

鍋平からの出発時は晴れていたが、だんだんと曇っていき、やがて雨へと変わった。

前半は雨もなく難なく歩いていたが、途中から降り出した雨のせいで岩場が滑りそうで意識的にゆっくり歩いた。

沢教室で苔が付いた岩が滑ることをわかっていたからだ。

怪我をするより、怪我をせず標準コースタイム+ $\alpha$ のスピードで歩けば問題は無い。

いずれ雷も鳴り出した。

槍平小屋まで遠く感じた。

明日は槍ヶ岳に登頂できるのだろうか？

さらに不安がよぎる。

休憩をしながら、なんとか槍平小屋に到着。

雨の中、早速テントを張る。

これも夏山教室で教えて貰っていたことで問題はなかった。

雨のせいで体が想像以上に冷えていた。

小屋に休憩をしに行き、湊さんが天候を確認してくれた。

明日の天候は不良…

朝一での下山が決まった。

残念で仕方なかったが、自然には勝てない。

山は逃げない。また来れる！と自分に言い聞かせた。

テントに戻り、上戸さんと古淵さんと談笑しながら晩酌と夕食を楽しんだ。

共同でのテントは初めての経験だった。

体も冷え切っており、バーナーで体を暖めた。

その後はお酒のせいもあり眠気がきた。

熟睡することができ翌朝を迎えた。

テントの外を確認すると、雨は降っていないがガスっており昼からの悪天候が予想された為に予定通り下山。

帰りの足取りも槍ヶ岳に登頂できなかったせいで重かったが、全員怪我もなく無事下山。

残念なことではあったが、非常に良い経験になった。

これが山であり、自然だ！  
今後活かそうと思う。

夏山教室のスタッフの皆様、  
猛暑の中・雨の中・雷の中大変でしたが夏山教室を開催してくださり誠にありがとうございました。

RC 教室を経て神戸労山に入会させて頂き  
沢教室、夏山教室と連続で受講させて頂き  
日々良い経験と楽しい山行をさせて頂いております。

今後はスタッフとして御協力させて頂けたらと考えておりますので、今後も引き続き宜しく御願います。

#### **村上 和喜**

今回、途中から雨の山行になりましたが、とてもいい経験になりました。雨の中でもカッパを着て、意外と苦痛を感じず歩けるものだなと思いました。アルプスは気温が低いせいでしょうか…アルプスは岩が多く、濡れると滑りやすく危ないのでストックは必要だと思いました。ストックは日頃あまり使わないので、石の滑る部分にストックをついてしまい、危ない時があったので、ストックを使う練習も必要だと感じました。

槍平でのテント泊は今までの山行の話や装備の話などいろいろ聞いて楽しかったです。今回、撤退となりましたが、雨(雷の可能性も…)の中、槍ヶ岳への梯子を登るのは、経験のない私には恐いと感じるので、撤退してよかったと思いました。また別の機会に槍ヶ岳に再挑戦したいです。

6月の座学から、歩行トレ、岩稜歩き、修了山行と毎週のように指導していただき、とても濃密な一ヶ月でした。座学を受けたことがもっとも前だったように感じます。歩き方や装備、地図読みについてなど毎回指導していただきとても勉強になりました。スタッフの皆様、ご指導いただきありがとうございました。まだまだ至らぬところばかりですが、次回は夏山教室のスタッフとして参加できればと思います。よろしく願いいたします。

#### **黒岩 絵里**

今年は梅雨明けが早く糠喜びしたものの、やはり例年通りこの時期としての天候に泣かされました。

修了山行 10 日程前から、天気予報サイトを開いては落胆し、少なかったがたまに喜んだりした次第です。

山行日前に二回程、リーダーに天気情報を提供したりしました。本降りのなか槍平小屋でテント設営し、テント場の使用申し込みと天気情報を仕入れに皆で小屋に向かいました。

槍平小屋で翌日の天気情報を聞くと、午前中は今日よりは少ない雨、午後からは雷雨予報。そこで二三人がかりで増幅器を通して未だ弱い電波を拾い天気情報を確認すると、やはり雨の予報。

仕方なく翌朝新穂高温泉に下山することに相りました。

ピークハントは叶いませんでしたが、無理をせず「家に帰るまでが山登り」との合い言葉も有りますので「次の機会を待ちましょう！！」

皆さん有り難うございます。お疲れ様でした！

補足：お得な情報

小屋のサービスとしてモンベル会員はドリップコーヒー（二種類の内の一つ、売値：300円／個）が貰えるそうです。

証明出来る物が必要ですので僕みたいに小屋情報の未確認の無い様、事前に確認しておいてください！（笑）

## 上戸 育夫

受講生のお二人は槍ヶ岳をととても楽しみにしていたのに、撤退になってしまい残念でした。雨が降ったり止んだり、雷が鳴ったりという状況では、以降の行動判断は難しかったと思います。しかし雨の中での行動、テント生活を体験したのは、二人にとっては今後のために意味があったのではないのでしょうか。

私自身はレインウェアの不備で全身ずぶ濡れ状態になったため、翌日の行動に消極的になってしまい、それがパーティの行動に影響したかもしれないと申し訳なく思っています。

受講生の二人はすでに経験もあるため、山を歩くという点では問題はなかったと感じます。

これから更にテント生活を体験し、荷物の軽量化などの工夫を身につけて行ってほしいと思います。そして来年にはスタッフとして、新しい受講生に指導していただくことを願っています。

## 中塚 文教

今年の夏山教室終了山行は天候不良の為、槍平小屋で中途撤退となり槍ヶ岳登頂はならなかった。雨の中レインウェアを着て長時間歩くことは、受講生の皆さんはもちろん私にとってもいい経験だった。

またテント生活については装備の重要性、忘れ物をしてはいけないと肝に銘じた。

今回は山頂を極めることが出来なかったが、また皆さんと良い天気の中で山行できればと思っています。

## 古淵 都恵

夏山教室受講生・スタッフの皆さん、お疲れさまでした。

読図トレ、岩稜歩き、修了山行と超短縮版での夏山教室となってしまいました。皆さん、RC教室や雪山教室を経験しているので、全然大丈夫でしたね。逆にスタッフが置いて行かれる場面が多かったのではないのでしょうか。

さて、修了山行の槍ヶ岳ですが、本当に残念でした。前日の久しぶりの雨中歩行と、小屋のお兄さんの情報にやられた感じです。

今回山行の気象判断は難しく、見る天気予報によって違いがあり、見るたびに予報が変わってしまいました。皆さんも一喜一憂していたのではないのでしょうか？さて、天気予報がそろわないということは、気象状況が不安定ということです。また、不安定ということは雷にも注意ということです。ただ、行って撤退ということもまた山行なのでご了承ください。

また、装備については経験と財力でスリム化軽量化されてゆきます。厳しい山行では、軽量化も大切ですが、天場でのし好品（持ちすぎに注意です！）も大切です。

最後になりましたが、ご協力いただいたスタッフの皆さんありがとうございました。受講生の皆さんには、次回のスタッフ参加の申し出もいただいています。これからもよろしくお願ひします。

## 湊 浩樹